

秋田県域完全地デジ化最終行動計画
【別冊：周知広報編】

平成23年5月24日

秋田県地上デジタル放送推進会議

1. アナログ放送における常時告知スーパーの訴求力強化

(1) 高齢者等への地デジ移行を促進するための文言を表示

- 早期対応を促すためにアナログ放送終了のカウントダウン周知を全社統一文言で実施
 - ご覧のアナログ放送は、あと〇か月で終了します。（「〇か月」部分を月替わりで変更。6月25日～は「7月24日に終了します」に変更。）
 - でんわ急げ！デジサポへ 018-803-1100

(2) 文字の位置・輝度・スクロール等に変化をつけ、より視聴者の注意を喚起する表示に変更

- NHK秋田放送局：スクロールによる動き（1枚目がスクロールで2枚目に切替え）で注意喚起。表示輝度は最大。全国番組のネット受けは24時間表示。ローカル番組は9：00～21：00（土日祝日を除く）。
- 民放全社：上下固定の常時表示による注意喚起。

(3) デジタル化の対応方法や具体的な施策等の紹介への変更を検討

アナログ放送における常時告知スーパーの訴求力強化イメージ

- 高齢者等への地デジ移行を促進するための文言を表示
- 文字の位置、輝度、スクロール等に変化をつけ、より視聴者の注意を喚起

NHK秋田放送局
(下位置、スクロール)



民放全社
(上下固定)



2. アナログ放送画面を通じた徹底周知の実施

(1) NHKではアナログ放送のスポット時間枠を順次、デジタル化周知に移行

- NHK秋田放送局：アナログスポット時間枠を順次デジタル化周知に移行の予定

(2) 民放各局ではローカル番組等に地デジ化移行促進用「ムービングロゴ」を一定時間表示

- 民放全社：自社製作のニュース・情報番組等生番組内で「ムービングロゴ」を一定時間表示

(3) 各社が行うアナログ／デジタルPRスポットを増加

- 全社：各社が持ち回りで製作して全社で放送している「地デジ推進PRスポット」（15秒、30秒）の製作を引き続き実施するとともに各社における放送回数を増加

アナログ放送画面を通じた徹底周知の実施イメージ

- 民放ではローカル番組等に地デジ化移行促進用「ムービングロゴ」を一定時間表示



- 全社アナログ／デジタルPRスポットを増加
- NHKではアナログスポット時間枠を順次デジタル化周知に移行予定



3. 地デジの魅力、受信方法や受信機器普及につながる情報等を番組で集中的に取り上げ

(1) 毎月24日を軸とした「周知強化週間」を設定

- 全社：毎月24日と100日前、50日前にソフトテスト60秒版を放送するとともに、前後の期間においてPRスポットを集中的に放送

(2) 受信機普及につながる情報等を番組で集中的に取り上げ

4. アナログ放送終了直前(7月)のアナログ放送画面を通じた特別周知

(1) アナログ放送のテレビ画面上に「アナログ放送終了まであと〇〇日！」等のスーパーを常時表示

- 具体化にあたっては、今後、全国的な動向を踏まえ、県内各放送事業者間で調整予定

(2) 定期的に全画面スーパーもしくはブルーバック等の「お知らせ画面」を短時間挿入

- 具体化にあたっては、今後、全国的な動向を踏まえ、県内各放送事業者間で調整予定

(3) 7月24日正午にブルーバックの「お知らせ画面」に全面移行(24時までには停波)

- 具体化にあたっては、今後、全国的な動向を踏まえ、県内各放送事業者間で調整予定

7月1日以降のアナログ放送画面(特別周知)イメージ

7月1日～24日正午



- カウントダウン表示

- 定期的に全画面スーパーもしくはブルーバック等の「お知らせ画面」を短時間挿入

7月24日正午～



- ブルーバックの「お知らせ画面」に全面移行(24時までには停波)

7月25日～



5. その他

(1) 番組広報等と合わせたデジタル化促進周知を展開

- 秋田駅西口「ぽぽろーど」にカウントダウンボードを設置
- 各局番組にデジサポ秋田が出演しデジタル化促進周知を展開

● 秋田駅西口「ぽぽろーど」
に設置中のカウントダウン
ボード



(2) デジサポの電話相談対応、各地の臨時相談コーナー、地デジボランティア全国運動等の対応

- 全社：臨時相談コーナーの設置や地デジボランティアの活動状況について放送を通じて周知

(3) アナログ放送終了後の周波数再編（リパック）等の円滑な実施への対応

- 全社：アナログ放送終了後の「NHK秋田放送局」「ABS秋田放送」の親局リパックに関して、全社が協力して放送等を通じた周知広報を実施

(4) 「地デジで元気！キャンペーン」等の実施を検討

完全デジタル化に向けた最終国民運動の展開 【参考】

(地上デジタル放送国民運動推進本部決定:H23. 1. 24...5本柱)

拡充・強化

周知・広報活動

プロ野球、Jリーグ等で地デジスポットを上映

「地デジ化応援隊」による活動

王貞治、桂歌丸、北島三郎、高橋英樹、萩本欽一、茂木健一郎各氏から地デジをPR

日本全国地デジで元気！キャンペーン

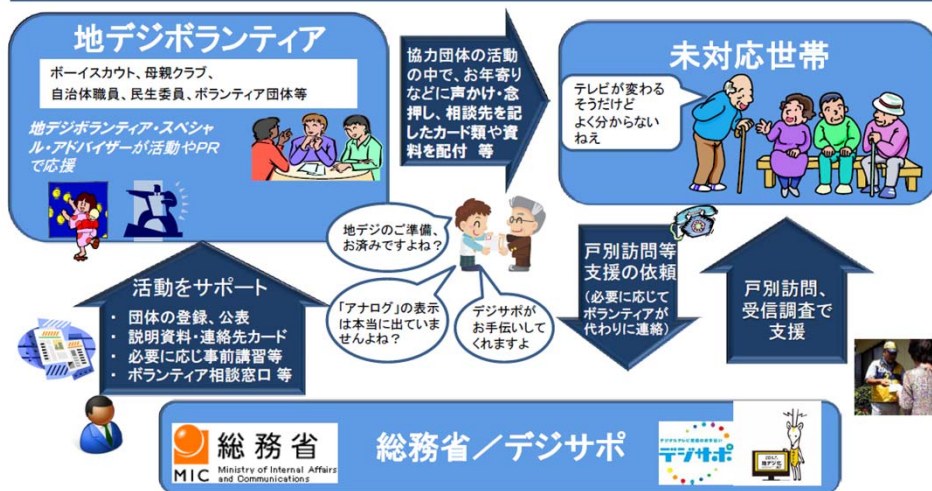
日本全国で地デジのPRイベントを展開

新規

地デジボランティア全国声かけ・念押し運動

- 地域で活動している団体に御協力いただき、高齢者等の未対応世帯に対して、地デジ対応を促す声かけ・念押しや資料配付などを行う全国的な草の根運動を展開
 - 20万人規模で活動見込み
 - 「地デジボランティア・スペシャル・アドバイザー」を旗振り役に

地域で活動している団体に御協力いただき、「地デジボランティア」として、高齢者等の未対応世帯に対して、地デジ対応を促す声かけ・念押しや資料配付などを行う全国的な草の根運動を展開。



「地デジ詐欺ご用心！」運動

- 「地デジ悪質商法KO宣言！」を皮切りに、注意喚起のための対策を集中的に実施
 - 「地デジ詐欺ご用心！運動強化月間」の設定
 - 「これって地デジ詐欺？ウソ・ホント？」を作成し、広く周知
 - 地デジ詐欺対策のパンフレットを消費者団体と共同で作成

○ 国民運動推進本部での「地デジ悪質商法KO宣言！」を皮切りに、注意喚起のための対策を集中的に実施

○ 対策の例

- ・ 「地デジ詐欺ご用心！運動強化月間」の設定
- ・ 「これって地デジ詐欺？ ウソ・ホント？」を作成し、関係事業者・団体を通じて一般に広く周知
例、「総務省を名乗る男性にアンテナ工事代金を請求された。これホント？」「×ウソ！総務省がお金を請求することはありません。(以下説明)」
- ・ 地デジ詐欺対策のパンフレットを消費者団体と共同で作成
- ・ 地デジコールセンター等への相談者に対する「問いかけ型の注意喚起」の実施
→ 強化月間と連動し、関係業界とも連携
『(待ち受け時間中)地デジの受信に必要なと言われて、工事もしていないのに金銭を請求されたことはありませんか？地デジ詐欺にご用心ください！』
- ・ 放送を通じた注意喚起
→ 番組、スーパー等を活用した具体的な注意喚起

